

介護職員初任者研修 研修情報【研修の概要・研修カリキュラム・講師情報等】

(社会福祉法人ほたか会 介護研修センター)

○課程編成責任者:村上 志明 (介護研修センター 所長)

令和7年1月1日現在

予 定 ※各期日程につきましては別紙カリキュラムを参照ください。	研修時間	教 科 名	時間	区分	会場	講 師 情 報		
						現職・資格・氏名	略歴	専任兼任
講義 1日目	9:00~10:00	開講式及びオリエンテーション(独自)	1	通	介護研修センター	社会福祉法人ほたか会 社会福祉士・介護支援専門員 村上 志明	相談業務(39年)	兼任
	10:10~15:00	1 職務の理解 1. 多様なサービスの理解(3h) 2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解(1h)	4			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士・介護支援専門員 上条 みつ江	介護業務(14年)・相談業務(20年)	兼任
実習	各実習先にて変動あり	1 職務の理解 2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解(4h) 23. 介護の基本的な考え方(1h) 24. 介護に関するところのしくみの基礎的理解(1h)	6		各実習施設	実習先指導者		
講義 2日目	9:00~12:10	2 介護における尊厳保持・自立支援 3. 人権と尊厳を支える介護①	3		社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 山口 有香	相談業務(14年)	兼任	
	12:50~16:00	2 介護における尊厳保持・自立支援 3. 人権と尊厳を支える介護②	3		ベルジ株式会社 介護福祉士 守田 昌史	介護業務(21年)	兼任	
講義 3日目	9:00~12:10	2 介護における尊厳保持・自立支援 4. 自立に向けた介護	3		たくみ株式会社 介護福祉士 野口 裕子	介護業務(22年)	兼任	
	12:50~16:00	3 介護の基本 5. 介護職の役割、専門性と多職種との連携 6. 介護職の職業倫理(介護従事者の倫理)	3		ちよだ株式会社 介護福祉士 伊東 矢恵子	介護業務(10年)・相談業務(20年)	兼任	
講義 4日目	9:00~12:10	3 介護の基本 7. 介護における安全の確保とリスクマネジメント 8. 介護職の安全(介護職の安全衛生)	3		社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 黒田 佳代子	介護業務(8年)	兼任	
	12:50~16:00	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9. 介護保険制度①	3		社会福祉法人ほたか会 介護福祉士・介護支援専門員 富澤 伸也	介護業務(5年)・相談業務(25年)	兼任	
講義 5日目	9:00~11:00	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9. 介護保険制度②	2		社会福祉法人ほたか会 介護福祉士・介護支援専門員 富澤 伸也	介護業務(5年)・相談業務(25年)	兼任	
	11:10~13:10	10. 医療との連携とリハビリテーション (介護と医療の連携)	2	社会福祉法人ほたか会 理学療法士 唐鎌 ますみ	リハビリ業務(25年)	兼任		
	14:00~16:00	11. 障害者自立支援法及びその他の制度 (障害者自立支援制度、個人の権利を守るその他の制度)	2	社会福祉法人ほたか会 社会福祉士・介護支援専門員 村上 志明	相談業務(39年)	兼任		
講義 6日目	9:00~12:10	5 介護におけるコミュニケーション技術 12. 介護におけるコミュニケーション	3	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 小島 俊	介護業務(6年)	兼任		
	12:50~16:00	5 介護におけるコミュニケーション技術 13. 介護におけるチームのコミュニケーション	3	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 小島 俊	介護業務(6年)	兼任		
講義 7日目	9:00~12:10	6 老化の理解 14. 老化に伴うところからの変化と日常	3	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 高橋 俊英	介護業務(19年)	兼任		
	12:50~16:00	6 老化の理解 15. 高齢者と健康	3	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 高橋 俊英	介護業務(19年)	兼任		
講義 8日目	9:00~12:10	7 認知症の理解 16. 認知症をとりまく状況 17. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	3	ベルジ株式会社 介護福祉士・ぐんま認定介護士 高木 正幸	介護業務(22年)	兼任		
	12:50~16:00	18. 認知症に伴うところからの変化と日常生活 19. 家族への支援	3	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 星野 通久	介護業務(20年)	兼任		
講義 9日目	9:00~12:10	9 ところからだのしくみと生活支援技術 26. 生活と家事	3	社会福祉法人鎌倉会 介護福祉士 浅見 淳子	介護業務(25年)	兼任		
	13:00~15:00	8 障害の理解 21. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識	2	社会福祉法人ほたか会 看護師 塚越 雅江	看護業務(31年)	兼任		
講義 10日目	9:00~13:10	9 ところからだのしくみと生活支援技術 24. 介護に関するところのしくみの基礎的理解	4	株式会社シー・アンド・エス 介護福祉士 磯 律子	相談業務(10年)・介護業務(13年)	兼任		
	14:00~16:00	9 ところからだのしくみと生活支援技術 25. 介護に関するところのしくみの基礎的理解	2	株式会社シー・アンド・エス 介護福祉士 磯 律子	相談業務(10年)・介護業務(13年)	兼任		

日程	研修時間	教科名	時間	区分	会場	講師情報		
						現職・資格・氏名	略歴	専任兼任
講義 11日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 33. 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	講義 2 演習 3	通	介護 研 修 セ ン タ ー	ベルジ株式会社 介護福祉士 石関 隆二	介護業務(6年)	兼任
講義 12日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 27. 快適な居住環境整備と介護(快適な住環境に関する基礎知識)	講義 2 演習 3			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 岡本 博貴	介護業務(22年)	兼任
講義 13日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 28. 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	講義 3 演習 3			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 都丸 千秋	介護業務(23年)	兼任
講義 14日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 29. 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	講義 3 演習 4			ベルジ株式会社 介護福祉士 宇洞 美樹	介護業務(24年)	兼任
講義 15日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 30. 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	講義 3 演習 4			社会福祉法人鎌倉会 介護福祉士 石井 亮子	介護業務(24年)	兼任
講義 16日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 31. 入浴・清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	講義 3 演習 4			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 佐々木 智	介護業務(15年)	兼任
講義 17日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 32. 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	講義 3 演習 4			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 諸田 和子	介護業務(18年)	兼任
講義 18日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 34. 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護	講義 3 演習 4			たくみ株式会社 介護福祉士 阿部 孝博	介護業務(13年)	兼任
講義 19日目	9:00~13:10	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 35. 介護過程の基礎的理解	演習 4			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 荒井 朝子	介護業務(10年)	兼任
	13:50~14:50	8 障害の理解 20. 障害の基礎的理解 22. 家族の心理、かわり支援の理解(家族の心理の理解)	1			社会福祉法人ほたか会 介護福祉士・介護支援専門員 齋藤 久美子	相談業務(13年)・介護業務(14年)	兼任
	15:00~17:00	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 23. 介護の基本的な考え方	2	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士・介護支援専門員 齋藤 久美子	相談業務(13年)・介護業務(14年)	兼任		
講義 20日目	9:00~17:00 (休憩一時間含)	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 36. 総合生活支援技術演習	演習 7	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士 角田 昌枝	介護業務(21年)・相談業務(18年)	兼任		
修了評価 21日目	9:00~13:10	10 振り返り 37. 振り返り	5	社会福祉法人ほたか会 介護福祉士・介護支援専門員 上条 みつ江	介護業務(14年)・相談業務(20年)	兼任		
	14:00~15:00	38. 就業への備えと研修修了後における継続的な研修						
	15:10~16:10	筆記試験	1					

[筆記試験について]

筆記試験は40問出題し、正答率70%以上を合格とする。不合格の場合は再試験を実施する。

[修了評価について]

認定基準の区分に基づき、学習した知識を習得しているかどうかを合格・不合格の2区分で評価し、合格に達した受講者を修了者と認定する。

※知識・技術の習得が十分でない場合には必要に応じて補講を行う。